

■ 議長記者会見概要

日 時：平成24年9月19日（水）13：50～14：00

場 所：県政記者室（県庁内）

出席者：上田悟議長、高柳忠夫副議長、国中憲治広報委員会座長



高柳忠夫副議長

上田悟議長

国中憲治広報委員会座長

〈案件〉

（1）高校生議会の結果報告について

議 長： 奈良県議会としてははじめて、8月に高校生議会に取り組みました。

県内8校から34名の生徒が参加しました。県議会本会議場において知事、教育長、警察本部長など関係部局長がすべてご出席され、高校生自ら議長役を務め、県政の諸課題や政策について、高校生の立場から質問や提言を行ってくれました。

振り返ってみて、国中前議長の時から準備にずいぶんと力をいれてもらい、大変中身の濃いすばらしいものとなりました。また、教育委員会や知事部局の関係者などに多大なご協力をいただき、充実した内容と成果を得て、終えることができました。また、県議会議員と高校生の意見交換会は、議員側にとっては若い感性をお聞きするという点でたいへん有意義なものであったのではないかと考えております。

高校生議会は、開かれた議会運営とするため、県議会とはどんなところか広報するという目的、若い世代の政治離れを阻止し、若者の政治参加を目指すという観点から開催しましたので、私達も大変興味をもっておりましたが、高校生に議会や県政への理解、関心を高めてもらったのではないかと考えておりま

す。

今後の高校生議会の開催については未定ですが、振り返って大変よかったということで、第2回、第3回と続けて開催していきたいという思いを持っております。

(2) 「燈花会議場見て歩き」の結果報告について

議長：夏の燈花会の時に開催しております「燈花会議場見て歩き」事業について、のべ10日間、県庁舎議会棟の2階の回廊を解放し、7400人あまりの多くの方に来場していただきました。パネル展示やロビーでのミニコンサートも好評を博し喜んでいただきました。

(3) 議員提案条例の検討状況について

議長：現在、議員発議として2つの条例制定について取り組んでおります。

一つは厚生委員会で「歯と口腔の健康に関する条例」について、実質審議していただいております。これからの予定としては来年2月定例会を目的に議員発議による条例制定を目指しているとの報告をいただいております。

もう一つは地域交通対策等特別委員会で審議されている「生活交通確保に関する条例」です。やっと審議のテーブルに載せられたところで、今後しっかりと議論していただくこととなります。出来るだけ早く条例制定を目指したいと考えます。

(4) その他

議長：本日、奈良県議会がん対策推進議員連盟（43名）の設立総会がありました。

43名の議員全員が参加する議員連盟の設立は初めてのことです。10月10日に奈良県がんと向き合う日街頭啓発運動が、近鉄奈良駅前キャンペーン、奈良県文化会館で「がん検診を受けよう」奈良県民大会が開催されます。議会としても積極的に参加し、県民への啓発に努めたいと考えます。

〈質疑応答〉

記者：本日、本会議で東京オリンピック誘致の決議（「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致を支援する決議」）がなされましたが、そのことについてコメントをお願いします。

議長：ロンドンオリンピックでは、深夜に世界の祭典を応援するとともに日本人選手を応援することで日本人の心を再認識しました。このようなオリンピックが国内に誘致され、開催されるならば日本にとって素晴らしいことです。

全国展開で世論を高めていくという意味から、奈良県議会が決議し誘致活動を支援協力していくことを表明したものです。

記者：全国各都道府県で同様の決議を予定されていますか。

議 長；承知している範囲では、全国議長会で決議されています。また今年6月までに10都道府県が決議を行っています。おそらくこの9月定例会時期に全国各地で同様に決議が行われると考えます。